

第5学年道徳学習指導案

日 時 平成24年11月14日(水) 5校時

対 象 男子8名 女子5名 計13名

指導者 榎本 隆行

- 1 主題名 自律と責任が伴った自由 <内容項目 1-(3) 自由・責任>
資料名 うばわれた自由(出典 学習研究社「みんなのどうとく 5年」)

2 主題設定の理由

(1)ねらいとする価値について

学習指導要領の道徳の内容 第5学年及び第6学年の1「主として自分自身に関すること」の(3)に「自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。」と示されている。

自分自身をよりよく高めていくためには、何ものにもとらわれない自由な考えや行動が大切である。しかし、その自由は放縦とは区別される。自分の自由な意思によっておおらかに生きながらも、そこにははじめがあり、内から自覚された責任ある規律が伴っていないなければならない。

高学年の児童は、自律的な態度が発達し、責任感が育ち、批判力もついてきている。従って規律を伴った自由の大切さを感じ取る素地は十分にできていると考えられる。しかし、一方で、自由のとらえ違いをして自分勝手なふるまいをしてしまうことも見られる。自由な考えや行動のもつ意味、さらに、それに伴う自分の責任を踏まえた自律的な行動について意識をもたせることが大切であると考え、本主題を設定した。

(2)児童について

本学級の子どもたちは明るく活発である。自分たちの思いを学級の中に積極的に出すことができ、お互いの立場を大切に行動も多くある。しかし、その行動が時に自分勝手な行動で他者に迷惑をかけてしまっている場面を見かけることもある。

学校生活の中で子どもたちの中から、「自由にしたい?」「自由にしよう。」という言葉をよく聞く。自分たちで進んで様々なことを計画したり、学級のことを考えた様々な要求を出したりすることもある。そこにはのびのびと自分たちのやっていきたいことを考えている場面もあるが、周囲の状況を考えない無責任で自分本位に考えている場面もある。

そこで、本学級の子どもたちには本当の自由とは何かを考えさせることを通して、自由な考えや行動を大切にしていこうとする気持ちと同時に集団との関わりの中で規律が伴っており、その規律を大切にしていきながら自由を大切にしていこうとする意欲を育てていきたい。

(3)資料について

本資料は、自分の思いのままに行動することが自由であると思っているジェラル王子が、その考えが誤っていることを森の番人ガリューに諭されるが聞き入れず、ジェラル王自身も、国内の乱れがもとで囚われの身となり、改めて真の自由の大切さを知るというお話である。

牢屋に入れられたジェラル王が、自由についてどんなことを考えたか話し合わせることで「本当の自由」について気付かせることのできる資料である。

(4)指導にあたって

「導入」の段階では、自由という言葉からのイメージしたことを発表することにより、自由の意味を考えさせ、問題意識をもって、本時でねらいとする価値についての見通しをもたせたい。

「展開前段」の段階では、資料のイメージ化が難しいため、事前に資料に目を通させておき、場面の状況把握をやすくしたい。また、ジェラルール王の気持ちの変化を考えさせながら集団における規律やそれを守ろうとする姿勢の大切さ、本当の自由の意味を考えさせたい。また、挙手発表だけでなく、意図的指名をし、話し合いの活性化を図りたい。

「展開後段」の段階では、「自由についての経験」について自分の生活を振り返りながら道徳ノートに書かせ、発表させることで、これからの生活での実践意欲につなげたい。

(5)他の教育活動との関連

(道徳の時間・他の教育活動)

(子どもの意識)

事前	◎学習発表会（10/20） 自分勝手な行動をしないで、一つの発表を学級みんなで作り上げていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分勝手な行動をしないで、良いものを作り上げていこう。 ・一人一人に任せられた責任は大きい。 ・みんなが楽しめる活動にするにはどうすればいいだろう。
	○クラブ活動 集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	
本時	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> ○道徳の時間（11/14） 主題名 自律と責任が伴った自由 資料名 うばわれた自由 ねらい 自由を大切にするとともに、それに伴う自律性や責任を大切にすることを育てる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由は、きまりを大切にしながら考えなければならない。 ・自由とは、責任がある行動をとらなければならないから大変だ。 ・自分勝手な行動はやめて、みんなのためにがんばろう。
事後	○児童会集会活動（11/21） みんなが楽しめる活動にするために、班のきまりを守って高学年としての責任を果たす。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がやりたいことばかりやると、みんなが楽しめない。 ・自分で考え判断し、実行しよう。 ・みんなが気持ちよく働くために約束事があるんだ。
	◎委員会活動 自分たちの学校生活の向上を目指して、自主的、実践的な態度を育てる。	

3 本時の指導

(1) ねらい

自由を大切にするとともに、それに伴う自律性や責任を大切にしようとする心情を育てる。

(2) 展開の概要

段階	学習活動と主発問 (◎中心発問)	期待する児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 「自由」という言葉からイメージしたことを発表する。 ・「自由」という言葉を聞いて、どんなことをイメージしましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 好きなことができる。 勝手に行動ができる。 誰にも命令されない。 何でも思い通りにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に「自由」という言葉からイメージすることをシートに書かせておく。その結果を提示し、自由の意味について方向付けを図る。
展開 前段 30分	2 資料「うばわれた自由」を読んで、ジェラルール王子の気持ちについて話し合う。 (1) ジェラルール王子は狩りをしている時、どんな気持ちだったでしょう。 ◎(2) 牢屋に入れられたジェラルール王は、どんなことを考えたのだろう。 ・自由な行動をするために大切なことはどんなことでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> 狩りは楽しいな。 王子だから何をしてもいいんだ。 したいことをしたいようにできる自由っていいな。 ガリューの話聞いておけばよかった。私が悪かった。許してくれ。 自分が決まりを守らなかったせいで、国がダメになってしまった。 私は、自分が王子だからと言って、自分勝手な行動をしていた。 わがままをしない。 きまりを守る。 自分で考え、行動する。 自分の責任を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入時の子どもたちの自由に対する考えと似ていることに気付かせたい。 ジェラルール王の自分勝手な行動を具体的に出させながら、反省していることを押さえない。 自由についての発言内容を整理し、その理由について話し合い、自由について考えを深める。 友だちの意見で自分が参考になった意見を伝え合わせたい。 ※自由と規律ある行動の意義をつかむことができたか。(発言)

<p>展開後段 7分</p>	<p>3 自分の生活を振り返る。 ・自分勝手に誤った行動をしてしまった経験を振り返ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスのきまりを守らなくて、友だちとけんかになった。 ・クラブ活動の時、自分勝手な行動をしてしまって、みんなに迷惑をかけてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の学級活動や学校行事と関連付けて自身を見つめさせ、規律の大切さを考えさせたい。 <p>※資料を通じて把握した価値について学んだことを振り返り、自分の考えをもつことができたか。(道徳シート)</p>
<p>終末 3分</p>	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守っている友達がいるから、みんな楽しいんだな。 ・自分もこれからの生活に生かしていこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、児童が自由にやりたいことを我慢して、規律ある行動をしようとしていた具体的な場面を紹介する。

【板書計画】

<ul style="list-style-type: none"> ・自分がまますない。 ・きまりを守る。 ・自分で考えて、行動する。 ・自分の責任を考える。 	<p>自由な行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がまますない。 ・きまりを守る。 ・自分で考えて、行動する。 ・自分の責任を考える。 	<p>うばわれた自由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガリユーの話聞いておけばよかった。 ・自分のせいで国がダメになってしまった。 ・自分勝手な行動をしてしまった。 	<p>うばわれた自由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝手気ままなくらし ・国が乱れる ・ろうやに入れられる <p>ジェラルル王が、ろうやに入れられている場面の絵</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・狩りは楽しいな。 ・王子だから何をしてもいい。 ・したいことを自由にできるっていいな。 	<p>ジェラルル王子</p> <p>ジェラルル王子の絵</p>	<p>自由</p> <p>好き勝手ができる 勝手に行動できる 誰にも命令されない</p>
--	---	---	--	--	---------------------------------	--

4 資料分析

- (1) ねらい 自由を大切にするとともに、それに伴う自律性や責任を大切にしようとする心情を育てる。
- (2) 資料名 うばわれた自由（出典 学習研究社「みんなのどうとく 5年」）

主な場面	<p>勝手気ままできまりをきまりとも思わないジェラルール王子は、きまりを破って狩りをする。</p> <p>「あなたが言う自由とは、自分だけに都合のいい、ただのわがままではありませんか。」と忠告するガリューをとらえ牢屋に入れてしまう。</p>	<p>ジェラルール王子が王位を継ぐと、国民もわがまま勝手になり、国は乱れ、ついにジェラルール王自身も裏切りに会い、牢屋に入れられてしまう。</p> <p>やつれ果ててすべてを失った王は、牢屋の中でガリューと再会する。自分の考えていた自由は違っていたことに気付き、ガリュー謝罪をする。</p>
登場人物の心の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・狩りは酔い覚ましにいい。 ・狩りは楽しい。 ・人はみんなしたいことを、したいようにできる、自由な暮らしを望んでいる。 ・どうしようも私の自由だ。 ・王子なのだから、何をしてもいいのだ。 ・王子に向かって無礼な奴だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のせいで国がダメになってしまった。 ・私の自由も奪われてしまった。 ・私は、自分勝手な行動をしてしまった。 ・自分の考えていた自由は違っていた。 ・自由とは何をしてもいいわけではない。 ・おろかだった自分を許してほしい。
把握すべき状況	<ul style="list-style-type: none"> ・森では「動物をとってはならない」と決められている。 ・ガリューは決まりを破った者をとらえる森の番人である。 ・狩りをしていたのは、わがままで知られるジェラルール王子であった。 ・王子は、国のきまりを無視して狩りをした。 ・ガリューは殺されるのを覚悟で必死に訴えた。 ・ガリューは捕えられ牢屋に入れられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェラルール王が王位を継ぐと、国民もわがまま勝手になり、国は乱れた。 ・ジェラルール自身も裏切りにあい、牢屋に入れられてしまう。 ・やつれ果ててすべてを失った。 ・牢屋でガリューと再会する。 ・自分の行いを反省し、ガリューに謝罪する。
識学 習者 焦点の 化意	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェラルール王子が、自分の思いのままに行動し、制約のないことが自由だと思っていることをとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェラルール王の身勝手な行動が自分をダメにするだけでなく、国を乱してしまっただけに気付く。 ・身勝手な行動をした自分に後悔し、本当の自由に気付いていくジェラルール王の気持ちに共感する。
基本発問	<p>○ジェラルール王子は狩りをしている時、どんな気持ちだったでしょう。</p>	<p>◎牢屋に入れられたジェラルール王は、どんなことを考えたのだろう。</p> <p>○自由な行動をするために大切なことはどんなことだろう。</p>